

○ 山 下 廣 大 (25分)

【一括方式】

1 5G時代の到来における佐世保市としての行政サービスの進め方

いよいよ2020年から東京を中心に5Gの運用がスタートします。佐世保市で5Gが利用できるのは、3年ほど先のことですが、5Gサービスのスタートでテクノロジーが進化し、さまざまな生活が変化していきます。そのための事前の準備や対応はしっかりできているのか、佐世保市としての取り組み方、姿勢を御回答ください。

- 観光のあり方（観光の情報発信、観光アプリや通訳機器の利用）
- 農業のあり方（スマート農業、スマートトラップと呼ばれる罟の設置）
- 行政のサービス（窓口サービスの利便性）
- 医療のあり方（遠隔操作による診断や手術）
- 買い物のあり方（自動運転、VRによる仮想空間での買い物、ドローンなどでの輸送）

2 人生100年時代構想についての佐世保市の考え方

2017年、政府より人生100年時代の構想が発表されました。国としての理想や理念は理解するところもありますが、まだまだわからないところが多数あります。実際、これまでの、学生時代に学び、就職し、定年まで勤めて、老後は悠々自適な隠居生活という現状ではなくなってきているのではないのでしょうか。テクノロジーや医療の進化により、長寿となり、生活は激変しつつあります。そのような中で、この現状について佐世保市はどのような考え方、取り組みを行なっているのかお聞きします。

- 健康寿命の延ばし方
- 高齢者雇用について
- リカレント教育の取り組み
- 年金や社会保障制度の維持
- 老後資金は充分なのか

○ 柴 山 賢 一

(20分)

【一括方式】

1 受動喫煙防止対策について

- 受動喫煙防止対策の現状について
- 課題と今後の対応について

2 コンベンション誘致について

- コンベンションの受け入れ状況について
- 今後のコンベンション誘致について

○ 長 野 孝 道

(20分)

【一括方式】

- 1 マイナンバーカードの普及促進について
 - 本市の現況について
 - 今後の登録に向けた対策について

- 2 大村湾の活性化と浄化対策について
 - 大村湾の現在の状況について
 - 大村湾での漁獲高の向上対策と浄化対策について

- 3 国際クルーズ外国人客の市内周遊対策について
 - 市内に引きとめる対策について
 - 将来の市内寄港の見通しについて

○ 宮 島 武 雄

(30分)

【一括方式】

1 有害鳥獣対策について

- アライグマによる被害と対策について

2 英語が話せるまちづくりについて

- 英語が話せるまちづくりの進捗について
- 今後の取り組みについて

3 いじめ、不登校について

- いじめ、不登校の現状と課題について
- 今後の対策について

○ 久 保 葉 人 (30分)

【一問一答方式（2回目から）】

1 児童生徒の学力向上のための施策について

平成31年4月の、全国の小学校第6学年・義務教育学校前期課程第6学年と中学校第3学年・義務教育学校後期課程第3学年を対象とした「平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査」の結果、本市の児童生徒の学力は調査教科の全てにおいて全国平均並びに長崎県平均を下回っていた。本市の児童生徒の学力の相対的な低さは常態化しており、本市教育方針の努力目標「確かな学力」はいまだ達成できていないと評価せざるを得ない。本市は常態化している児童生徒の学力不足の原因をいかに分析し、学力を向上させるためにいかに取り組んできたのかを問う。

2 緊急避難所の適正化について

平成31年3月に改定された内閣府の「避難勧告等に関するガイドライン」では、住民は、みずからの命はみずからが守る意識を持ち、みずからの判断で避難行動をとるとの方針が示された。また避難に当たっては、あらかじめ指定された避難場所へ向かうことにこだわらず、その時点で最善の安全確保行動をとることが重要とされている。本市における緊急避難所の現状と一時避難所の増設並びに避難所における生活支援の充実等の適正化について問う。

3 災害廃棄物処理計画の策定について

平成27年7月、平時の備えから大規模災害発生時の対応まで、切れ目なく災害廃棄物対策を実施、強化するため、廃棄物処理についての制度と災害対策についての制度の両方を改正する法律が公布され、同年、施行された。本法律で、国、地方自治体及び民間事業者には、それぞれが主体的に取り組み、かつ広域にわたって有機的に連携するよう、役割分担を明確化し、平時から計画的に対策すること等が求められている。本市の災害廃棄物処理計画の現状と今後の方針について問う。

4 早岐川河川改修工事の早岐茶市へ与える影響について

平成26年度より県の新規事業として進められている早岐川河川改修工事では、流下能力を確保するため、河口から祝田橋下流までの約1.8キロメートルの区間について、新川開削、河道拡幅、築堤、河床掘削及び橋梁のかけかえによる河道の整備等が行われる予定と聞く。一方で、早岐瀬戸沿岸部では、450年余りの歴史を持つ早岐茶市が毎年開催されているが、工事のために、その開催が危ぶまれるのではと懸念する声がある。早岐川河川改修工事が早岐茶市の開催に与える影響について問う。